

山口市において、公共文化施設のリソースを活用した空き家の利活用モデルの確立を目的とし、芸術文化や空き家問題に関心のある層を対象に、空き家をオルタナティブスペースへと転換。新たな交流の拠点を創出した。

■ 事業概要

事業部門	部門2住宅市場を活用した空き家に係る課題の解決を行う事業
事業地域	山口県山口市
背景・課題	従来、空き家対策ではまちづくりや生活環境の保全といった観点から進められることの多く、文化振興の観点が欠如していた
目的	新しい芸術表現の制作にノウハウのある公共文化施設が、空き家を活用した複合文化施設を市民参加で設計し、運用することで、日本各地にあまねく存在する公共文化施設のリソースやネットワークを活かして、オルタナティブスペースとしての空き家の活用法を模索し、新しい空き家対策モデルを確立する。
連携する団体・役割	株式会社砂木(設計)、有限会社かしわ製作所(改築)、山口市役所、市民によるプロジェクトチーム

物件の調査と改築

1

取組内容 昨年度の取り組みから、オルタナティブスペースとして利用するためにふさわしい物件を選定。建物にまつわるさまざまな調査、改築計画の作成、改築作業を行った。



成果

物件の調査

本事業は活用物件のオルタナティブスペース化を目的として、建物の改築や減築などが計画され、その前段階において専門家による調査も行われている。この調査をイベントとして市民に公開することで、参加者は空き家に関する知識を共有することができた。

物件の改築

プロジェクトメンバーに向けて、『ゆっくりこわすを考える』ワークショップを実施。改築、減築のアイデアを収集し、設計プランを作成した。改築プランをもとに、工務店をプロジェクトメンバーがサポートするかたちで共同で改築作業を実施した。

イベントの実施・運営

2

取組内容 プロジェクトメンバーが主体性を持ってスペースを運営。さらに、彼らが企画制作するサイトスペシフィックなイベントが多数開催された。



成果

プロジェクトチームの運営

山口市民を中心とした10代から70代までの約60名のプロジェクトメンバーが、イベントの企画制作や建物の改築の管理など、スペースの運営を主体的に担う。さらに協力者として建築家や職人などさまざまな専門家組織が、危険を伴う解体作業など専門的な作業領域を分担している。

イベントの開催

改築、減築中に、その空間の状況を考慮、読み取ることによってサイトスペシフィックな、多種多様なイベントを実施することができた。開催したイベント数は計60件以上、1000名以上の来場者や、全国放送や地元紙の掲載などマスメディアへの掲載があった。